

## 地理歴史科学習指導略案

## ◇本時の目標

戦争のプロパガンダから、マス＝メディアとの関わり方について自分の考えを持つ。

## ◇本時の展開

授業の流れ	活用場面(タブレット)
1 本時の目標を知る 「戦争のプロパガンダから、マス＝メディアとの関わり方について自分の考えを持つ」	
2 第一次世界大戦中にマス＝メディアがどのように活用されたかを考える。	MetaMojiClassRoomのワークシートに自分の考えを書かせて、共有する。
3 アンヌ＝モレリの戦争のプロパガンダ10の法則より戦争中にはどのようなプロパガンダが行われるかを知る。	
4 第一次世界大戦やその他の戦争でのプロパガンダにはどのようなものがあるかグループで調べ、ワークシートを完成させる。	戦争のプロパガンダにはどのようなものがあるかをインターネットを用いて調べさせ、MetaMojiClassRoomのグループページでワークシートを完成させる。
5 戦争・災害のような危機的な状況下でのマス＝メディアとの関わり方について自分の考えをまとめる。	MetaMojiClassRoomのワークシートに記入し、抜粋して全体で共有する。

## ◇効果・工夫点

- ・生徒にとって第一次世界大戦などの歴史的事象と現代社会の諸課題との結びつきを感じることは難しいと感じているが、マス＝メディアとの関わり方を取り上げることで、生徒がこの授業の中で行っている、インターネット検索などで「情報を得る」という行為自体が普遍的行為であると気付くことが出来る。
- ・戦争のプロパガンダという広い範囲で検索させることで、多様な情報が得られ、MetaMojiClassRoomを用いて、スピーディーに様々な意見に触れることが出来る。
- ・生徒が発表するときには生徒が自身のMetaMojiClassRoomワークシートを操作できるので、身振り手振りのような抽象的身体動作では無く、ポイントを指し示したり、書き加えたりして誰も取り残すことなく全体に意見を共有する事が出来る。

- ※1 授業の全体の流れを左側に、タブレットの活用場面を右側に記入してください。
- ※2 動画作品(タブレットを使った場面)に該当するところは、□で囲んでください。